

麻生区地域教育会議

重点方針：子どもがいきいき育つまち おとも楽しく学べるまち

～ふるさと麻生の未来を考える～

◆◆ 2023 年度の主な活動 ◆◆

★★教育を語るつどい「麻生の寺子屋」★★

麻生区内中学校区地域教育会議交流会

(令和 5 年 9 月 21 日・令和 6 年 2 月 6 日)

地域の寺子屋交流会

(令和 6 年 1 月 25 日) 麻生市民館と協同活動にて開催

おとな会議

(令和 5 年 9 月 13 日・令和 6 年 2 月 14 日)

第 1 回・第 2 回青空子ども会議をうけておとも考えてみよう

★★子ども会議★★

青空子ども会議(令和 5 年 11 月 23 日)黒川青少年野外活動センター

テーマ 麻生区を「明日を」区に～ふるさと麻生の未来を考えよう～

広報紙【さんりんしゃ】

令和 5 年度の活動を振り返って

青空子ども会議
麻生区を「明日を」区に
ふるさと麻生の未来を考えようをテーマに開催

11月23日、黒川青少年野外活動センターで「青空子ども会議」が開催されました。雨だった前年と打って変わって文字通り「青空」のもとでの一日になりました。小学生、中学生合わせて30人が参加して、午前中はグループに分かれてビザをつくり、一緒に食べて、メンバー同士打ち解けてきました。午後からは子ども会議です。

今回のテーマは「麻生区を「明日(あす)を」区に」。麻生区の未来をみんなで考えました。子どもたちは真剣に意見やアイデアを出し合い、グループごとに発表。最後にグループリーダーの中学生たちがまとめを発表しました。最後に山本区長から発表に対してのコメントをいただき、会議は終了。区長は子どもたちの提案を直接聞くことができてよかったとおっしゃっていました。(廣辺)

子ども会議

青年の経験もあり、今日のプログラムはスムーズに進行でき、子どもたちも積極的に参加してくれました。アンケートを見ると、参加者の満足度も高かったようです。今回は定員50名で抽選という方法を取りましたが、応募は40名。応募者も多く当日の参加は30名でしたが、中学生は、はるひ野中学校の生徒が参加してくれたのですが、各校の参加がなかったのが残念でした。今回は募集方法や当日の進行の検討とともに、小、中学校や中学校区地域教育会議にも報告して、多くの参加を呼びかけたいと思います。また1回目、2回目に参加してくれた子どもたちには、次回の企画から参加してもらいたいと考えています。(廣辺)

寺子屋交流会

1月25日(木)に麻生市民館大会議室にて、麻生区内の寺子屋交流会を開催しました。教育委員会地域教育推進課の担当者と、10の寺子屋から24名のコーディネーター・寺子屋先生等に参加いただきました。各寺子屋での取組の紹介からはじまり、政策・取り組みの紹介、GIGA端末の取り扱い、子どもたちの様子、寺子屋合同プロジェクトの紹介など、幅広い内容について情報交換を行いました。今年は、市民館と地域教育会議の協働活動として取り組みました。(江上)

交流会に参加した寺子屋の取組紹介

名称	参加人数	取組内容
西生田	81	2回制で実施。おもしろ学びが好評。
くりぼり	53	どの児童も楽しんで帰るようになっています。
わかだけ	18	読書を楽しめるよう心がけています。読書活動を実施。
ゆりっ子	27	児童、先生とも楽しかったと思える場。
かきお	24	先生がフルタイム勤務。読書活動を実施。
おがひめ	38	読書・自然体験、和太鼓などの活動。
あさひ	57	児童に合わせた寺子屋開催イベントを実施。
桂生中	12	安くて楽しく読書を通して、生徒は読書が好き。
はるひ野	23	先生でなくボランティアとして一緒に楽しむ。
南のり	準備中	寺子屋。おもしろ学びイベントを実施。

子ども会議

「あなたもいっしょに子ども会議に参加しよう」

子ども会議グループ

おとな会議

青年期開成した「青空子ども会議」。その前に出された子どもたちの意見・考え・提案を受けて、「おとも考えてみよう!」と、麻生区地域教育推進課の中でおとな会議を開催しました。おとな会議では、グループディスカッションを行い、各グループの話し合いの報告を共有しました。(岩川)

第1回 おとな会議 9月13日(木)
2022年11月23日開催の「青空子ども会議」テーマ「麻生区の未来を考えよう」を受けて

第2回 おとな会議 2月14日(木)
2023年11月23日開催の「青空子ども会議」テーマ「麻生区を「明日を」区に～ふるさと麻生の未来を考えよう～」を受けて

グループディスカッションより

- ・子どもたちの様々な意見・提案を聞いてみると、大人はすでに意識されているかと思うところがあり、子どもたちはまだ認識していないところもある。あらためて大人と子どもとで一緒に考える必要があることに気づかされた。
- ・麻生区の自然を活かしたイベントを開催できないか。
- ・自然は麻生区の強み。自然を活かした活動、イベント、作品展も開催しては?
- ・行政だけでなく地域で取り組むタイムリに開催してイベントを。
- ・学校と連携して実践の参加方法を考える。
- ・未整備の地区を確保できないか?
- ・多世代交流、小・中・高の連携、地域のイベントでの人とのつながりを。いろいろな団体、地域のおとも、子どもと交流ができるものを。
- ・こども110番は地域ごとに連携があり、ルール作りが必要。